

ロボット技術とICTの農林水産・食品産業への活用に向けた研究開発支援の枠組について

研究開発ステージ

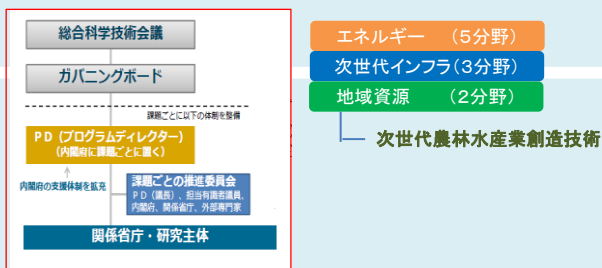
実用化まで5年以上

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

【概要】

総合科学技術会議が課題を特定、予算を重点配分する、府省・分野の枠を超えた横断型プログラム。基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据えて推進。

進捗状況等に応じてガバニングボードが助言・評価。これまで、府省横断型の重要な10の対象課題候補が選定。



◇次世代農林水産業創造技術

新品種育成の迅速化や**先端的IT技術等の活用による画期的な高収量・高収益モデルを実現**する。また、生活の質の向上等に資する次世代の機能性を有する農林水産物・食品等の開発や未利用・低利用資源の活用によって、新たな市場を創出する。食料自給率の向上や農業の付加価値・生産性の向上、安全性の確保は国家的課題であり、農業者、研究者、関係企業、行政が一丸となって取り組む必要がある。

（総合科学技術会議資料に基づき作成）

実用化まで3～5年程度

生産現場強化のための研究開発（～H26）

【概要】

多大な研究資源等が求められる**総合的体系的な研究を実施**。

【取組内容イメージ】

（例）土地利用型農業における自動農作業体系化技術の開発



（例）農業用アシストスーツの開発



革新的技術創造促進事業

【概要】

異分野（情報通信分野）の研究機関を核としてICTと農林水産分野の融合研究を産学連携のもと実施。

【取組内容イメージ】

IT分野

連携

農林水産分野

☑情報通信分野との連携により、農業ビッグデータ及び農業支援クラウド（ICT企業が農業支援ソフト提供するシステム）を構築

☑経営支援や流通販売等の農林水産業支援コンテンツの開発

☑フィールドサーバー（センサー）とコンピューターを結ぶ通信プロトコルの標準化などITインフラ利用導入システムの構築

実証ステージ

食料生産地域再生のための先端技術展開事業

国際競争力確保のための先端技術展開事業

【概要】

産学官の英知を活かした新品種・新技術等を導入し、コスト低減・所得増大を実現するため、**先端技術を経営体レベルで実証する研究を実施し、普及・事業化を促進**

【取組内容イメージ】

（例）自動走行可能な無人作業機による無人＋有人の協調作業の実証



（例）遠隔管理による大規模施設の精密環境制御技術の実証

